

## 11 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和5年11月9日（木）
  - 2 開 催 場 所 新館9階 191会議室
  - 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、播委員、坂元委員、土屋委員
  - 4 出席した職員 織田教育総務部長、桐山教育指導部長、  
稲岡教育総務部次長、杉本教育指導部次長、  
福島教育指導部公民館統括担当参事、  
松尾教育指導部学校教育担当参事、  
井上教育指導部部活動地域移行調整担当参事、  
今津教育指導部青少年育成担当参事、  
衣笠教育指導部教職員研修担当参事、  
福本教育総務課長、松尾学務課長、梅野社会教育課長、  
真鍋学校教育課長、藤尾青少年育成課長、  
吉田教育総務課副課長、竹内教育総務課管理調整係長
  - 5 傍 聴 者 なし
  - 6 議 事 の 要 旨
- 開 会 午後2時00分
- 会議録署名委員指名のこと  
土屋委員に決定
- 10月定例教育委員会の会議録報告承認のこと  
(事務局から会議録朗読報告)  
承 認
- 会議公開の可否決定のこと  
報告事項1「市内小学校で発生した重大事態に関する調査報告書の市長報告について」  
報告事項2「市内中学校で発生した重大事態に関する市長報告について」、報告事項  
3「市内中学校で発生した重大事態に関する市長報告について」、協議事項1「義務教  
育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定に係る意見について」、協議事  
項2「加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例の改正に係る意見について」、協  
議事項3「加古川市立別府公民館及び加古川市立尾上公民館の指定管理者の指定に係  
る意見について」は非公開とし、他は公開することに決定

(報告事項)

- 1 市内小学校で発生した重大事態に関する調査報告書の市長報告について  
(議事を非公開とする)
- 2 市内中学校で発生した重大事態に関する市長報告について  
(議事を非公開とする)
- 3 市内中学校で発生した重大事態に関する市長報告について  
(議事を非公開とする)

(専決報告)

- 1 加古川市社会教育推進員の解嘱及び委嘱について  
(教育指導部参事から説明)  
承 認

(協議事項)

- 1 義務教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定に係る意見について  
(議事を非公開とする)
  - 2 加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例の改正に係る意見について  
(議事を非公開とする)
  - 3 加古川市立別府公民館及び加古川市立尾上公民館の指定管理者の指定に係る意見について  
(議事を非公開とする)
- 次期定例教育委員会予定日のこと  
12月7日(木)午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 令和5年度近畿都市教育長協議会研究協議会について

10月26日から27日にかけて、令和5年度近畿都市教育長協議会研究協議会が大  
阪府阿倍野区と柏原市で開催された。本会では1日目に大阪教育大学副学長である  
藤井睦子氏による講演が行われた。藤井氏は大阪府庁健康医療部長時代にコロナ禍  
における陣頭指揮のご経験があり、具体的なお話を伺うことができた。

また、情報交換会では3市から事例発表があり、各市における教育行政の取組が紹  
介された。京都府八幡市では、経済的に厳しい家庭の児童生徒を対象に放課後に民間  
の業者による個別指導事業や地域住民の協力を得て自習学習事業を実施している。大  
阪府池田市では小中一貫教育の推進を打ち出し、義務教育学校だけでなく中学校区ご  
とに教育全般にわたって9年間を見据えた授業展開が行われている。不登校対策とし  
てNPO法人へ委託し、公設民営のフリースクールを開設している。奈良県桜井市では、  
遺跡や古墳などの文化財を活用した特色ある事業を実施している。視察では柏原市に

ある大寅蒲鉾の製造工場と日本遺産「亀の瀬」を見学した。「亀の瀬」にあるトンネル内ではプロジェクションマッピングの上映が行われており、文化財の有効活用をしていた。

(2) 播磨東地区の各研究大会について

10月13日には小学校の図工科、10月31日には中学校の社会科、11月1日には中学校の理科の研究大会が市内の各学校で開催された。中学校では加古川市が推進する「協同的探究学習」という形での授業展開を披露し、藤村教授より講評をいただき、その様子を他市町の先生に見ていただいた。図工科では何時間にもわたる授業をビデオ撮影し、その授業の内容を2校の先生が報告された。授業の成果物が現場に並べられており、研究授業の新たな発表の形として効果的であると感じた。

(3) まちかどミュージアムについて

本日から総合文化センターで加古川市立の小学校に在籍する先生の似顔絵展が開催される。委員のみなさまにもぜひご覧いただきたい。

○ 教育委員諸報告

(委員)

(1) 学校訪問等について

11月1日に平岡南中学校で開催された理科部会で3年生の公開授業を視察した。実際に生徒たちが実験を行い、その実験で何が起こったのかということ議論し、班の代表者が板書し、それ以外の生徒は手元の用紙に自分の考えをまとめていた。一方的な講義よりこうした生徒と意見を交わし、双方向のコミュニケーションが活発な授業ほど先生のスキルの差が出やすいと考えるが、十分な準備がなされ、充実した授業だったと思う。しかしながら、授業については準備にかかる先生方の負担軽減と授業レベルの平準化の両方の観点から考える必要があると感じた。

また、生徒たちが自分で考えることはとても大切だが、考えた結果、正しい知識を得られるかどうか分からないため、最後は先生とのコミュニケーションも重要だと感じた。

(委員)

(1) 学校訪問等について

11月2日に加古川養護学校で開催された中等部・高等部の表現会を視察した。

私の目からは子どもたちはとても緊張しているように見受けられたが、校長先生曰く、いつもより張り切っていたという言葉聞きとても嬉しかった。

また、養護学校では慢性的な看護師不足が生じているというお話を伺った。都市部では、ほとんどの医療的ケアを看護師が担い、養護学校の教師は授業に専念できる環境が整っているとのことであった。

続いて、本岡家住宅と平荘湖古墳群をご案内いただいた。本岡家住宅の自然に囲まれた雰囲気は子どもたちにとっても非常に良いと感じた。学芸員から色々な情報を得ることができ、非常に有意義な時間であった。

(委員)

(1) 学校訪問等について

11月2日に平岡中学校で開催されたオープンスクールを視察した。国語の授業では、プロジェクターを使って題材を大きく取り上げ、考える事柄が整理されたプリントを用いていた。何を考えるべきかということが整理されており、席の近い生徒同士で意見交換も行われ、非常に円滑に授業されていた。さらに、加古川市立中学校は、校則の問題を生徒に考えさせる取組をしており、生徒会の代表と校長が意見交換する機会が設けられているというお話を伺った。

また、昨今課題となっておりますが、体調を崩す教師や離職する教師が増えている現状があるというお話も伺った。

学校訪問後は、総合文化センターをご案内いただいた。資料も豊富で入場料も無料ということで非常に魅力的な施設だが、職員に話を聞くと小中学生に来館いただく機会が少ないことが課題であるということをお伺いした。

(委員)

(1) 令和5年度近畿市町村教育委員会研修大会について

11月7日に令和5年度近畿市町村教育委員会研修大会へオンラインで参加した。

株式会社先生の幸せ研究所 澤田 真由美氏による講演を視聴した。主なテーマは、「先生の働き方改革」であった。働き方改革によって先生に余裕が生まれると教育の質が向上するといったお話があった。そうした働き方改革の実現には先生同士の意思疎通が重要であるとの説明に、改めて職員室内でのコミュニケーションが大切であると認識した。

○ 教育総務部長諸報告

(教育総務部長から報告)

(1) 加古川市水泳授業指導業務委託の試行実施について

(教育総務課長から報告)

令和5年度に実施した水泳授業指導業務委託及びアンケート結果について報告した。

委員： アンケート結果の「保護者から見た子どもの水泳に対する姿勢の変化」の項目で「変わった」という選択肢の中には肯定的なものとの否定的なものとの両方の意見があると思うが、「変わった」とひとつの項目に集約してしまっているのか。

事務局： アンケートの取り方については、肯定的な意見と否定的な意見が見えるよう工夫していきたい。

委員： なぜ、令和6年度に中学校での実施を見送るのか。

事務局： 小学校は担任教諭が水泳の授業を行うため、授業の組替の影響が少ない。中学校は、教科担任制であることから授業2時間分を活用する本委託事業の影響による授業の組替にかかる負担が大きい。

また、委託事業者側のキャパシティにも限界があることから、本委

託事業による優先順位を付けざるを得ない状況である。こうした状況から泳力の向上効果が大きく、先生方にかかる負担の少ない小学校を優先的に導入していくこととした。今後、参画業者が増加し、キャパシティの増加が見込まれることとなれば、中学校への展開も考えたい。

委員：委託事業による水泳の授業の成績への影響についてご教示いただきたい。

事務局：水泳のみの評価項目はないため、水泳を含め他に取り組む体育の授業全体として成績を評定することとなる。

委員：コナミスポーツへ向かう際には、コナミスポーツのバスに乗車して移動しているのか。

事務局：コナミスポーツが準備したバスに乗車して移動している。

委員：今後、指導者派遣型を導入する学校はあるのか。  
また、アンケートでも意見があったが、水質管理については問題ないという認識でよいか。

事務局：指導者派遣型については、委託事業者のインストラクター数に影響を受けるため、コナミスポーツ以外の事業者にも参画してもらえよう丁寧な説明を行っていきたい。  
また、水質管理については委託事業者が適切に管理しており、安全性に問題はないと認識している。

教育長：学校から施設までの移動時間がかかりすぎると授業に十分に行えないため、施設まで距離のある学校では指導者派遣型を検討することになると考えている。

## (2) インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖について (学務課長から報告)

令和5年度におけるインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の状況について報告した。

委員：例年、インフルエンザはまずA型が流行し、続いてB型が流行する流れとなる。現在は9割以上A型に感染している状況なので、これからでも予防接種を受けることを推奨する。

委員：感染症対策を徹底していたコロナ禍からコロナ以前に戻ろうとしている社会全体の動きのなかで、コロナ以外の感染症に耐性を持たず成長した子どもたちがインフルエンザ等に罹患しやすくなっている印象である。ひとつお伝えしておく、公衆衛生上日常のうがいは水で行うことが効果的である。

以上、2件について報告

○ 閉 会      午後4時